

Published since 1971

日工販NEWS

July
2022

工作機械業界への知見を広げ、日工販会員の絆を深める広報誌

F.O.Iの丘から望む、
ニューカレドニアの首都ヌメアの街並み



日本工作機械販売協会
JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

AUTOMATION SYSTEM

EZ LOADER 20

新登場

協働ロボットによる 省スペースな 自動化セル

小型・中型の工作機械を対象とした、フェンスレスで省スペースな自動化システムです。新登場のEz LOADER 20は空圧式ハンドを採用し、最大10kgのワークに対応。さらに幅広くお客様のニーズにお応えします。



ビジョンセンサにより
自動で位置補正

製品紹介
動画はこちら



運用簡単

段取りはワークをセットするだけ

ワークテンプレートにより、ティーチングレスの自動運転が可能です。

移設簡単

スムーズな据付・接続機械の変更

ケーブルを機械に接続するだけで、接続機種を自動で判別します。

応用簡単

独自の動作パターンを作成可能

ロボットアームを手動で動かし、独自の動作パターンを生成できます。

Mazak

Your Partner for Innovation

ヤマザキマザック株式会社

〒480-0197 愛知県丹羽郡大口町竹田1-131

0587-95-1131 (代表)

www.mazak.jp



F.O.Lの丘から望む、
ニューカレドニアの首都
ヌメアの街並み

撮影：中島 和彦（日工販 専務理事）

SE 合格者に
ご回覧をお願いします。

CONTENTS

- 2 特集 第53回通常総会
- 12 分かりやすい話題の技術
「高剛性・重切削加工立形マシニングセンタ『VM53R II』のご紹介」
ニデックオーケー株式会社 岸本 向史
- 15 私の読書評
「詰むや、詰まざるや 森・西武 VS 野村・ヤクルトの2年間」
株式会社不二 松嶋 祐太
- 16 リレー随筆
メルダスシステムエンジニアリング株式会社 中野 正彦
- 17 工作機械と私
株式会社トミタ 米田 慎吾
- 18 私の健康法
キタムラ機械株式会社 藤野 清一
- 20 私の好きなお店
「うまいもん処 和華松」 株式会社国興 矢澤 節子
- 21 会社生活に於ける私の初〇〇
「初めての転勤」 株式会社山善 早川 満喜子
- 22 海外だより
「ベトナムの製造業の発展に貢献したい」
Mitsubishi Electric Vietnam Co., Ltd. 松藤 陽一
- 24 SE 教育
2022年度SE教育「基礎講座」実施報告
日工販SE合格者第238回発表
- 27 事務局だより
2022年度日工販NEWS会員アンケート 集約結果(定量情報のみ)
- 31 統計資料
「工作機械・FA流通動態調査1」
「マシニングセンタ動向&NC施盤動向」
「工作機械業種別受注額(2022年5月)」
- 34 議事録
「第298回定例理事会議事録」
「2022年度日本工作機械販売協会中部地区正・副懇談会議事録」

特集

第53回通常総会

会長挨拶

日工販 会長 依田 智樹 (三菱商事テクノス(株) 代表取締役社長)

会員各社、代表の皆様こんにちは。

本日は第53回通常総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

また、本日は公務ご多忙の中、経済産業省より安田課長様、川内課長補佐様、蝶野係長様にお越し頂いております。ありがとうございます。

一昨年、昨年とコロナの影響で書面審議という形になりましたが、なんと3年ぶりのリアルな形での総会であります。皆様にごういう形で対面でお目にかかることを非常にうれしく思います。

それにしましても、この2年半、コロナで世の中大きく変わったと改めて思います。

生活スタイルも変わりましたし、業務形態も変わりました。これだけ長い間やっていると、そういう変化にもかなり慣れてきたという感触をもっています。

最近では社会全体が、“ワクチンを3度打ったから”とか、“マスクをしているから”とか、身体に染み付いた対策ということで、これをやってさえいれば感染者の数などにこだわる必要はないのでは？という雰囲気全体的に増してきて、世の中もかなり明るくなってきたという感じがします。

まだもう少しかかるのかも知れませんが、もう“出口”がすぐそこに近づいている感じがしています。

一方で、欧州ではロシアがウクライナに侵攻して早100日が経とうとしています。日本の周りにはミサイルを頻繁に打ち上げる国、それから南洋の進出を狙っている国、思うに地政学的リスクが非常に高まっているということを痛感いたします。

それから我々の商売にも影響してきますが、半導体や部材の不足ですとか、エネルギー、食糧価格の高騰、円安、アメリカの金利の上昇・・・といったようなことが、産業のみならず、我々の生活にも大きな影響を与えているという気がいたします。

こういう不透明な状況は暫く続くのであろうと思いますが、世界全体では相応の経済成長率も維持されておりますし、決して設備投資の意欲は衰えていないと思っています。

我々商社はそういった設備投資の需要をしっかり掴んで、日本のものづくりを盛り上げていかねばと改めて痛感しております。今年度も我々で頑張っていきましょう。

ところで、先日理事会でもご報告申し上げましたが、私はこの総会をもちまして日工販の会長を退任させていただきます。副会長として1年間、会長として3年間務めさせていただき、皆様には本当にお世話になりましたことをこの場をお借りしまして御礼申し上げます。

特に後半の2年間はコロナに振り回され、リアルな対面での活動がなかなかできなかったことが心残り



の点ではございますけれども、皆様のご支援をもちまして協会の運営もなんとかやってこれたと思っております。誠にありがとうございました。

後で議案としてご審議いただきますが、私の後任には㈱井高の高田社長にお願いしたいと思っております。今までと変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、協会のますますの発展、協会各社のますますのご繁栄、本日ご臨席の皆様のご健勝を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

議事録

1. 日 時：2022年6月3日（金） 12:15~12:51

2. 場 所：第一ホテル東京

【議 事】

1. 開会（12:15）

中島専務理事が進行係となり、別紙「総会次第」に従い議事を進めた。

総会の開催にあたり、依田会長による挨拶及び来賓の経済産業省製造産業局産業機械課長 安田篤様からご挨拶を頂いた。

安田課長は挨拶後退席されたが、同行の川内拓行課長補佐及び蝶野雅敏係長は総会終了まで傍聴された。

2. 総会の成立：

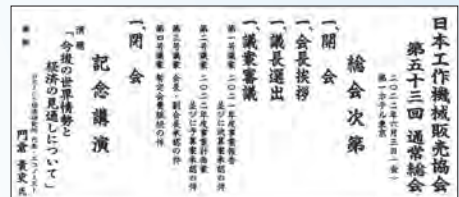
専務理事より「本日の出席社数はリモート参加も含め 44 社（54 名）内、議決権行使者は 38 名、有効な委任状提出 35 社、合計 73 社であり、現在の在籍正会員数は 80 社につきこの総会は定款の定めるところにより成立する」旨報告した。（尚、総会後再カウントの結果、議決権行使者数は被委任行使者も含め 40 名、有効な委任状提出社数は 35 社、合計 75 社と判明）

3. 議案の審議：

定款第 14 条に従い依田会長が議長に就き、第 1 号議案から第 4 号議案まで審議の結果、それぞれ次の通り承認された。

① 第 1 号議案 2021 年度事業報告並びに決算案承認の件

- (1) 会長が事業報告書の「概要」を述べた。
- (2) 専務理事が「決算報告書」を説明した。
- (3) 議案の審議に先立ち議長は監事に対し監査結果の報告を求めた。
- (4) 監事を代表して三橋監事から「2021 年度の収支計算書、貸借対照表、諸帳簿、証憑



司会進行 中島和彦専務理事



（左から）永安悟監事、山本佳孝監事、三橋誠監事

を監査した結果、適正であることを認める」旨報告があった。

(5) 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

②第2号議案 2022年度事業計画案並びに予算案承認の件

(1) 議長が事業計画案を提示、専務理事から予算案について説明した。

(2) 事業計画では基本方針に基づき、2021年度事業計画の概要を引き継ぐとともに、本年度はコロナ禍で中止していた各行事を可能な限り行っていきたい。特に本年度は11月にJIMTOFが予定されており座談会等の開催を予定する。

(3) 一般会計予算は、昨年適用した暫定会費の継続が本総会の第4号議案となっているが、この暫定会費ベースでの収入予定としている。また支出についてはコロナ禍で中止していた活動を再開するベース。各地区委員会の予算もコロナ前並みかそれ以上となっている。

(4) 教育事業会計は、基礎講座については日工大での研修を復活。SE教育講座についてはWeb講座ではあるが、リアルでの講座も本年度は1回行う予定であり、経費は増加する。

(5) 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

③第3号議案：会長・副会長承認の件

(1) 議長から任期中中ではあるが、副会長永田俊哉氏が2021年11月に退任、依田会長も本総会終了時に退任を表明したので、定款に基づき、理事互選の上、議案書の人事となること、また、池浦副会長・赤澤副会長は留任することを説明。

(2) 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

④第4号議案：暫定会費継続の件

(1) 議長が議案を提示、専務理事から暫定会費について説明した。

(2) 専務理事から、昨年度より新型コロナウイルス感染拡大の状況から活動が思うようにできなくなったため、1年間の暫定会費としたが、これを今年度も継続したい。理事会で承認済みで既に適用済みだが、総会の承認を得たい旨説明。

(3) 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

4. 議長挨拶：

議長は、以上を以って全議案の審議が終了したことを告げると共に、出席者の協力に対し謝辞を述べた。(12:48)

5. 閉会：

中島専務理事より、閉会を宣し通常総会の終了を告げ、高田新会長の挨拶があるむね告げた。(12:48)

6. 高田新会長挨拶 (12:51 終了)



依田智樹議長



総会の様子



受付支援チーム

来賓ご挨拶

経済産業省 製造産業局産業機械課 課長 安田 篤様

ただいまご紹介に与りました経済産業省産業機械課の安田と申します。

本日は日本工作機械販売協会様の定時総会が、こうして対面というリアルな形で開催されますことをまずはお慶び申し上げたいと思います。

3年ぶりというご紹介がございましたが、こうした形で開催できるというのも会長始め事務局の皆様方のご尽力の賜物だと思います。本当にありがとうございます。



開催にあたりまして、一言お祝いのご挨拶をさせていただければと思います。

新型コロナウイルス禍での国民生活、あるいは経済活動への影響というのは未だ残っていると思いますけれども、今月から水際措置の緩和をはじめまして、本格的な経済再開に向けた動きも出つつあると認識しています。こうしたことが可能になりましたのも、産業界の皆様方によりますワクチンの職域接種、あるいはテレワークの推進、時差出勤、こういった形でご協力を賜った結果だと認識をしております。この場をお借りしまして改めて御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

他方で、ここに来ましてロシアによるウクライナ侵略など世界は激動の時代を迎え、さらなるグローバルの分断が進むことが懸念されております。

それに加えまして、コロナ禍でのサプライチェーンの混乱が生じまして状況は悪化をしつつあるという印象がございます。

皆様、あるいは皆様の取引先におかれましては、原材料・エネルギー価格の高騰、半導体をはじめとする物資の不足といった影響が出ていると伺っておりまして、政府におきましてはそうした事態に対応するための総合対策パッケージを先月まとめさせていただいております。

また世界の政策動向に目を向けますと、アメリカあるいは中国などの主要国が戦略的な物資の確保、あるいは重要技術の獲得に向けて大きく産業政策を打ち出してきております。

こういった状況におきましては、経済と安全保障というのが密接不可分な領域になってきているということでございまして、こうした事態に対応するべく、政府におきましては国会におきまして経済安全保障推進法を成立させていただきました。

この法律に基づきまして、産業界の皆様とも連携しながら、国民生活あるいは経済活動に重要・不可欠な物資の確保、重要技術の開発という取組みを前に進めてまいりたいと考えています。

また御協会の皆様におかれましては、工作機械産業を始め、製造業の発展に販売面から貢献をいただいているということでございまして、さきほど申し上げました通り、事業を取巻く環境というのはこれまでも増して不確実性を増しておりまして、目まぐるしい変化に直面しておられることと存じます。

このような状況下におかれても、御協会の皆様、機械メーカー、そしてエンドユーザーの皆様まで共存共栄の関係を維持していただき持続的に発展していただくというためには、足下の様々な素材価格の高騰を

バリューチェーン全体で適切に価格転嫁をしていただくこと、あるいは取引慣行の見直しを含めて最適な取引環境の整備に努めていく必要があるということをございまして、政府といたしましてもパートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージを取りまとめております。

サプライチェーン全体でこうした取り組みが進むように、川上の産業から川下の産業まで政府全体で取り組みを進めてまいりたいと考えております。

他方、コロナ禍を踏まえましてニューノーマルを追い風に、デジタル化、そして自動化の浸透、世界的なムーブメントになっておりますカーボンニュートラルの実現に向けました取り組みへの要請というものも高まってきております。

デジタル化が進む中におきましては、皆さまが扱っておられます工作機械におきましても複合化、あるいはロボット等との組み合わせによる自動化が進んできていると考えておりますけれども、ユーザーのニーズあるいはデジタル化への対応状況に合わせまして適切にご提案をいただくなど、御協会が担っている役割というものは複雑かつ高度なものに変わってきているものと考えております。こうした対応を進めるにあたりましては、御協会が実施しておられますセールスエンジニア教育というものが非常にこの提案力の下支えをしていただいていると認識しておりますので、ますますこうした取り組みが重要性を増してくるものと考えております。経済産業省といたしましても新型コロナウイルスあるいはウクライナ情勢など引き続き注視が必要な状況ではございますけれども、デジタル化、あるいはカーボンニュートラルに向けた取り組みを含めて、先ほど申し上げたような御協会の取り組みとも連携を深めながら、我が国経済成長のために全力を尽くしてまいる所存でございます。

結びになりますけれども、私は1年間でございましたけれども依田会長には3年間この協会を引っ張って来られて、そのリーダーシップには御礼を申し上げたいと存じます。

本日また新しい体制が発足されると伺っておりますけれども、是非新しい体制の皆様とも私も一緒に、この工作機械、そしてそれを支える製造業全体の発展に向けて尽力してまいりたいと思います。

日本工作機械販売協会の皆様、そして会員企業の皆様のご発展、本日も列席の皆様のご健勝を祈念いたしまして私のお祝いの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

新会長挨拶

日工販会長 高田 研至 (株井高 取締役社長)

株式会社井高の高田研至でございます。先ほどの総会におきまして、日本工作機械販売協会の会長に就任することになりました、大変光栄に存じております。またこの責任の重さも痛感している次第でございます。

まずもって、前会長の依田様には心より慰労申し上げると共に、改めて御礼申し上げたいと存じます。ありがとうございます。

これからも当協会をお支えいただきたいと思います。

さて、世界の情勢は非常に不透明な感じで、まだ混沌とした状態が続いているところですが、わが業界においては市場環境そしてものづくりが大きく変化をしております。

その中で皆様非常に忙しくされていることは、言ってみればこれはありがたいことではないかと感じております。

このような状況にあって、我々日工販はこれから何をしていくかということでございますが、日工販の役目、私の目指していることは、「日工販」を業界の中で必要とされる組織にしていきたいということでございます。

我々の役目としましては、まず工作機械を始めとして様々な機器やサービスを販売すること、加えて、お客様、メーカー様に的確な情報を与えること、と承知しております。

その上では、我々日工販では社員教育が要であると感じており、そのレベルアップをはかることはさらに重要であると思っています。

ありがたいことに、日工販発足当時からSE教育という教育プログラムがございまして、これにはこれまでに多くの方がご参加いただいておりますけれども、この日工販SE教育を今以上に充実させて広げていきたいと考えています。

また各地区の会員の皆様のご協力により、勉強会、工場見学会などいろいろと開催させていただいております。それを是非とも一段と充実させていきたいと思っております。

いずれにいたしましても、これらをやっていくには本日お集りの各会員の皆様、各社の積極的なご参加が必要であると思っております。

今後とも、是非日工販発展のためにご協力をお願いしたいと存じております。

最後になりますが、各企業様のご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして、簡単ではございますが会長としての挨拶としたいと思います。



副会長就任挨拶

日工販 副会長 金子 隆視 (丸紅テクノシステム(株) 執行役員)

6月3日開催の第53回定時総会において副会長にご選任いただきました。歴史ある当協会の重責を担わせて頂くこととなり、身の引き締まる思いでございますが、誠心誠意取り組んで参りますので、よろしくお願い致します。

社会人として一貫して自動車産業を中心とした工作機械の販売に従事して参りましたが、昨今の自動車産業はCASEや脱炭素社会の実現に向けた取り組みといった、まさに100年に一度と言われる変革期を迎えております。加えて、コロナ禍による人流抑制政策、ロシアによるウクライナ侵攻といった不安定な世界情勢のもとで、製造業におけるサプライチェーンの停滞といった課題も顕在化する状況において、工作機械販売においても、従来とは違った販売戦略や施策が求められていると感じています。

工作機械の事業振興、取引増進のための諸施策の推進を担う当協会においては、こういった対面業界や社会情勢の変化を受けた業界動向を的確につかむため、会員間のコミュニケーションを密に行い、そして積極的な対外情報発信をすることで、工作機械業界の発展に寄与していきたいと思っています。まことに微力ではございますが、高田会長をはじめ会員皆様と協力しながら、当協会の運営に携わって参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



記念講演

「今後の世界情勢と経済の見通しについて」

講師：門倉 貴史氏 《BRICs経済研究所 代表、エコノミスト》

◆ 門倉貴史プロフィール (かどくら・たかし)

1971年神奈川県生まれ。95年慶応義塾大学経済学部を卒業、同年銀行系シンクタンクに入社する。99年日本経済研究センターに出向し、2000年シンガポールの東南アジア研究所に出向。02年から05年まで生保系シンクタンク経済調査部主任エコノミストを経て、2005年7月からBRICs経済研究所代表に就任する。

新興国経済、先進国経済の分析など同研究所の活動とあわせて、フジテレビ「ホンマでっか!? TV」、読売テレビ「クギズケ!」、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」など各種メディアにも出演する他、雑誌・WEBでの連載や講演など多方面に渡り活躍している。

『図説 BRICs 経済』(日本経済新聞社)、『増税なしで財政再建するたった一つの方法』(角川書店)、『不倫経済学』(KKベストセラーズ)、『オトナの経済学』(PHP研究所)、『お父さんのための裏ハローワーク』(方丈社)、『日本の「地下経済」最新白書』(SB新書)など著作多数。



【講演概要】

21世紀に入って以降、一部で言われる「VUCA」(*)の事例を取り上げ、企業経営の観点では、通用しづらくなってきているこれまでのビジネスモデルは、新たなVUCAの時代に対応したビジネスモデル構築が必要になる。

※ Volatility (変動性)「Uncertainty (不確実性)」「Complexity (複雑性)」「Ambiguity (曖昧性)」の頭文字で、「先行きが不透明で予測が困難なこと。

2001年の9月11日発生アメリカ同時多発テロ事件、2008年9月アメリカのリーマンショック、日本では2011年3月11日発生東日本大震災、2020年から始まった新型コロナウイルス感染症の影響や、今年2月から始まったロシアのウクライナへの軍事侵攻、こういった予測困難で先行きを見通すことが非常に難しい事象。

さらに、VUCAが世界経済、日本経済に及ぼす影響を、新型コロナウイルス感染症(パンデミック)の観点から解説する。2008年に発生したリーマンショック時の経済状況を引き合いに、現在のパンデミックが及ぼした世界経済・日本経済への影響の違いを比較。今回のコロナショックが世界経済にいかに深刻なダメージをもたらしたのかを、IMF(国際通貨基金)の成長率見通しなどから検証した。

昨年2021年の世界経済の回復予測においても、当初はワクチン開発等によりV字型で景気が回復するとの楽観視だったが、むしろ緩やかなU字型の景気の回復にとどまり、現在日本・アメリカではK字型で景気の回復が進んでいると言われる中、今年2022年の世界経済は、新興国でのワクチン普及、新変異株の変遷鈍化、さらには経口治療薬の本格的な普及などから、今年の後半以降、新型コロナウイルスが経済に及ぼす影響はかなり薄まってくると推測している。ただ、コロナの影響とは別に、実際の景気に遅れて回復してくるという特徴のある“雇用や収入”の環境については、今年いっぱい厳しい状況が続くとの見通しである。

コロナ関連での企業倒産件数は、2021年は2020年に比べて約2倍の規模に膨らんでおり、今年に入ってから倒産件数は増えている状況に加え、コロナ関連の解雇も増えており、厚労省発表の失業率2.5%は、雇用調整助成金対象の休業者を入れれば実質的には4%台になる。

このような状況下、政府の景気対策・経済対策では雇用対策を中心に巨額の財政支援策を打ち出しているが、総額では巨額でも中央政府の財政支出という面だけで見るとまだまだ日本の経済を下支えるには力不足であり、今後政府が多額の財政政策を打ち出していかざるを得ないのだが、日本の財政はもともと財政赤字が巨額(政府の借金は1000兆円超=GDPの2倍を超えるレベル)なため、コロナの完全終息後は、おそらく政府は財政再建を急ぎ、増税などが具体的に検討されるようになるであろう。

今年2022年の世界経済・日本経済を見る上で、一番のリスクファクターとしてロシアのウクライナへの軍事侵攻があるが、世界経済・日本経済に及ぼす影響としては、世界市場にロシアの主要産品(エネルギー資源や穀物資源)が出回らないということ、こうした資源価格の高騰や為替市場での円安進行からインフレに拍車がかかってきている。

このまま賃金の上昇スピードを上回る速さで物価が上昇していくということになれば、物価の上昇と景気の低迷が同時に進んでしまう、いわゆるスタグフレーションという状態に日本の経済はなりかねないのではないかと懸念している。

中長期の視点から日本の経済を見ると、日本は人口減少が加速していく（労働力人口も減少の一途）ことが予想されているため、中長期で日本経済が安定成長していくためには、ひとつにはこの労働力人口の減り方を出来るだけマイルドなものにしていく必要がある。例えば企業のダイバーシティ経営を進め、女性の社会進出促進やシニア層の再雇用を増加させること、こういった施策が必要との認識をしている。

ただ、日本の場合は他の国と比べて現状では女性の社会進出はかなり遅れ気味になっており（ジェンダーギャップ指数）、「会社の中に女性の重役や取締役がいて、それだけで企業の売上高あるいは営業利益があがりやすい」などの具体事例もあり、女性登用による仕事の効率改善や売上高・営業利益への貢献、女性の社会進出が進み雇用の面で男女の平等が実現すれば、世界の GDP は 3,080 兆円に増え、日本でも 80 兆円も GDP の増加が期待できるとの試算も出ている。

また、労働力人口の減少に歯止めをかける上ではシニア層の再雇用を増やしていくということも必要になる。いわば女性の社会進出の促進やシニア層の再雇用増加により、ある程度労働力人口の減少に歯止めをかけることは可能ではないかとする一方で、これだけでは労働力人口を反転させるということは難しく、日本の経済が安定成長していくためにはやはり既存のビジネスパーソンの仕事の効率、労働生産性をこれからどんどん引き上げていくということも必要になってくるのではないかと感じている。

日本のビジネスパーソンの労働生産性を国際比較で見ると、OECD 加盟国の時間あたりの労働生産性において、2019年で日本は37か国中21位という順位。決して高いとは言えない、むしろ低い部類に入っている。日本の労働生産性の低さには、日本的な労働慣行、長時間労働とか残業などにその改善を妨げる一番大きな要因があると政府も認識しており、2016年の秋くらいから働き方改革という政策を進めるようになってきている。一言でいうと、ビジネスパーソンの労働時間を出来る限り短くしてやって、リフレッシュ効果であるとか IT 化・ICT 化を進めていくことで生産性を改善していく、こういった戦略になっているということ。時短を進めていくことによって、生産性が確実に改善していくということがきちんと担保されているのであれば、時短を進めることで経済全体には少なからずプラスの影響が及んでくるのではないかと。厚労省も様々に研究を行っており、例えば労働時間を1%短くすると、それによって労働生産性が0.3%改善した、こういった研究結果も出ているので、やはり時短を進めることはある程度、経済全体にプラスの影響が出てくるのではないかと感じている。



記念公演の様子

また個別の企業の生産性を上げる方法として、モチベーションを上げる曜日時間帯の把握であるとか、生産性を上げるコツは（ホーソン効果に見られるような）人間関係であるとか、さらにテレワークを普及し通勤時間を短縮することで生産性を向上させることが可能と感じている。

〔講演終盤では、中長期での経済動向について検証〕

人口減少への懸念と、年金財政への不安等による若い世代の消費意欲減退、収入の貯金転化に触れ、国内経済戦略に問題提起した。対して、新興国

では中長期で高成長が継続しており、日本も海外に目を向けグローバル戦略への転換に迫られている。

新興国の経済成長のエンジンは資源を中心とする輸出にあるが、今や上昇指向のある中産階級による国内需要も甚だしく大きくなっている。玉石混交ながらも、日本にとっては進出先として魅力的な国であろうと感じる。実体経済そのものが好調であること、人口動態では増加し中産階級が増えていく傾向であること、実質的に日本企業が進出してきていることなどから、進出先としては ASEAN の国々が最も有力であろうと思う。



公演中の門倉氏

国内でのビジネスチャンスに目を向けると、世界ではグローバリゼーションの波が加速していたが、コロナ禍で一旦停止し、アフターコロナの時代にはまた再起する可能性が高いと見ている。グローバリゼーションには双方向性という特徴があるが、中長期の時点で日本企業が海外展開をしていっても海外も日本の市場に注目して日本に進出してくるという動きも加速して来る。そこで新規雇用が期待できるのではないかと思っている。

加えて日本は観光立国を目指しているので、インバウンド消費も増えて来る可能性が高いと考えている。そのインバウンド消費を増やすにあたって期待されているのが、政府の成長戦略のひとつ「クールジャパン戦略」。日本文化コンテンツのブームをつくり、ブランドイメージを高め、外国人観光客を増やす戦略である。これは国内の地域振興にも役立つことになる。

今後、人口の縮小が進んで消費のパイ自体が縮小することは避けられないが、これから高齢化という現象が進むため、消費関連の企業はシニア層向け商品開発とマーケティングの戦略が必要になると思っている。

では、中長期で日本の経済はどうなっていくのか。日本の資産形成のあり方について話してみる。前提として、中長期で日本経済はかなり厳しいというのが太宗のエコノミストの考え方である。足枷は高齢化という現象。予想を上回る社会保障（年金・医療・介護）の給付（財政赤字）の増大による借金の増加。これが日本経済のアキレス腱となる。

高齢化が進展すると老後のための費用に相応の額は必要になるが、政府もコロナ禍で巨額の財政支援策を出しているため、中長期では日本の財政はかなり悪化していくと見ている。当然、年金財政も悪化することになり、将来的には年金は減額になる確率が高いと思っているので、その分余計に貯金を増やしておく必要がある。

定年退職までにある程度の資産を作っておくことは理想だが、退職後も安定した収入を確保する上で、現実的・堅実的なのは「投資による資産運用」と言えよう。

これまでのデフレの時代からインフレの時代に入るにあたり、金員の価値が下がるため、預金は得策ではない。銀行預金も国策で低金利政策をすすめているため得策とは言えない。中長期のスパンで運用することが大事である。

以上

高剛性・重切削加工立形 マシニングセンタ 「VM53R II」のご紹介



ニデックオーケー株式会社
開発本部 開発第3部

岸本 向史

1. はじめに

航空機部品を中心としたチタン、インコネル等の難削材が増加しており、難削材加工における高能率が求められ、また金型や鉄系一般部品の加工においても重切削性能の要求が高まっています。

当社はそのような要求に対して、難削材加工および鉄系重切削を可能とし、使いやすさを向上させた高剛性・重切削加工立形マシニングセンタ「VM53R II」を開発しました（写真1）。

以下、本機の特長について、その概要を紹介します。



写真1：VM53R II

2. 本機の特長について

(1) 機械本体の剛性アップ

従来機に対して本体構造から見直しを行うことにより、コラムおよびベッド結合部の幅を大幅に拡大しました。さらにコラム単体の内部構造を解析しリブ形状を最適化することで高レベルな機械剛性を実現しています（写真2、写真3、写真4）。

(2) 高剛性・重切削を支える送り系構造

各送り案内面にはVMシリーズの伝統である角形滑り案内面を採用しています。本体剛性をアップするとともに振動減衰性能を高め、切削性能および加工面品位、工具寿命を向上しています。



写真2：VM53R
ベッド・コラム鋳物



写真3：VM53R II
ベッド・コラム鋳物

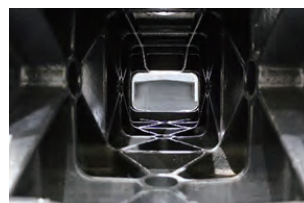


写真4：鋳物リップ形状

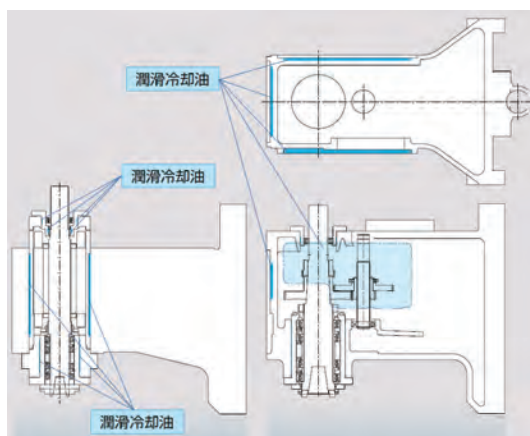
(3) 主軸仕様の向上

主軸仕様を従来機で標準であった最大6,000回転（15/11kW）から、最大8,000回転（18.5/15kW）へとアップし、更なる重切削加工を可能にしました。安定した加工を実現するために、これまではオプションであった二面拘束工具対応を本機では標準仕様としています。またワーク材質や加工内容に応じて最適な主軸を選択することができるようギヤ仕様主軸、ビルトインモータ仕様主軸それぞれに50番テーパ/40番テーパのオプションがあり、豊富な主軸バリエーションを揃えています。

(4) 熱変位対策の強化

No.50ギヤ仕様主軸機には、従来機より採用している主軸ベアリング冷却、ヘッド側面冷却に加え、ヘッド前面にも冷却油を循環させる構造を追加し、温度上昇の低減を図ることで熱変位を抑制します（図1）。

さらにニデックオーケー独自の環境熱変位補正ソフトスケール Cube を標準採用し、工場環境の温度変化が原因となって生じる環境熱変位を補正します（図2）。



MS仕様主軸 ギヤ仕様主軸

図1：ヘッド冷却範囲

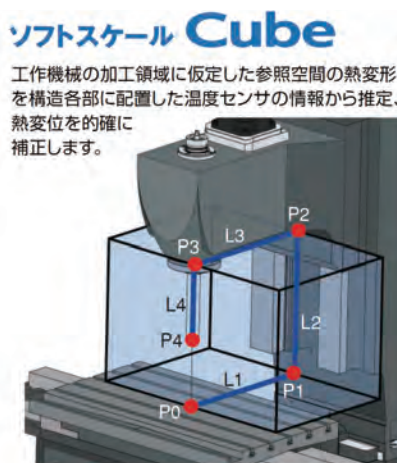


図2：環境熱変位補正ソフトスケール Cube

(5) 接近性・メンテナンス性向上

正面扉の上部レールを無くし、天井開口部を大きくすることで、クレーンでのワーク積み降ろしがスムーズに行えるようになりました（写真5）。また、日常点検機器を機械背面パネルに集中配置したことによりメンテナンス性を向上させて作業効率化を図りました（写真6）。



写真5：正面扉開口部

日常点検機器を背面のメンテナンスパネルに集中配置し、作業効率のアップを図っています。また、従来機からオイルコンの位置を最適化し、切屑排出のための作業スペースがより広くなりました。

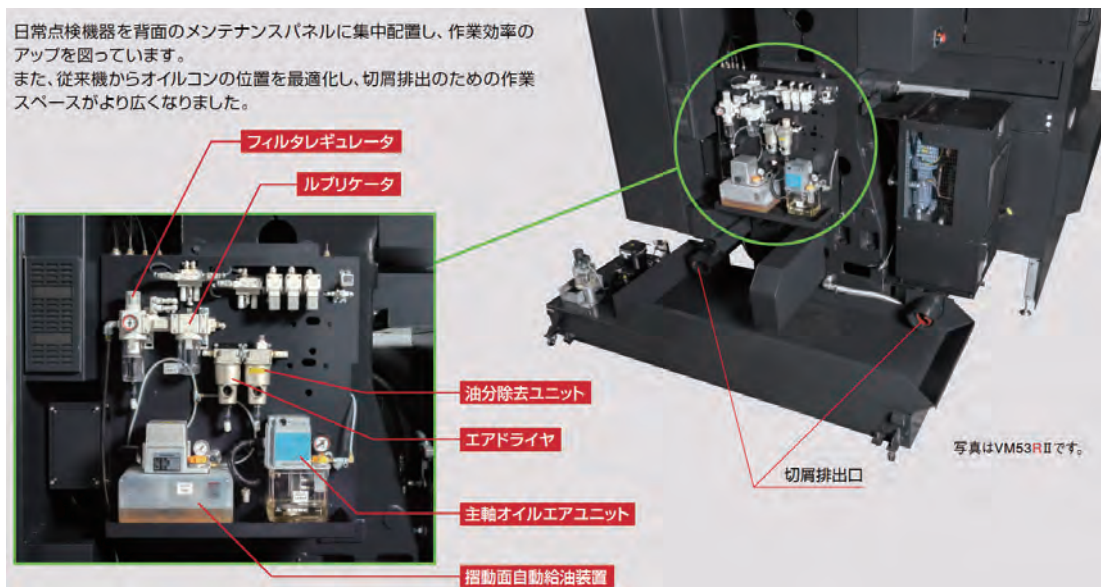


写真6：機械背面部

(6) 自動化・省力化オプション

段取り時間削減のためパレット段取り台を機外に設置する「手動パレット交換装置」、昼休みや終業後にオペレータが機械から離れた後にロボットが代わって生産を継続し機械の稼働効率を高める「ロボットパレット交換システム：CRASYS」等、多数の自動化・省力化オプションを準備しています。

3. まとめ

以上、VM53R IIの特長について紹介しました。これらの特長がお客様の生産性向上に貢献できれば幸いです。



私の 読書評

「詰むや、詰まざるや 森・西武VS野村・ヤクルトの2年間」

著者：長谷川晶一

(出版：インプレス)

この本は、1992年、1993年に行われた、西武ライオンズ対ヤクルトスワローズの日本シリーズを主題に、当時の選手、監督などの関係者へのインタビューを通して2年間の軌跡がまとめられたものです。プロ野球ファンの間では今なお史上最高の日本シリーズに挙げられることの多いこの2年の日本シリーズは、私が生まれる前のことではありますが、映像、記録を通して私自身も非常に印象深いです。

森祇晶監督の下黄金時代を謳歌していた絶対王者西武ライオンズと、野村監督の下ID野球を掲げて急速に力をつけていた挑戦者のヤクルトスワローズとの戦いとなった1992年、1993年の日本シリーズが今なお語り継がれるのは、試合内容が理由だと思っています。

2年間のトータルで7勝7敗、1992年は西武、1993年はヤクルトがそれぞれ日本一になっています。投手戦、打撃戦、豪快なホームラン、緻密な走塁、勝敗を分ける守備のスーパープレー、監督同士の緻密な読みあい等、野球で面白いと感じる全ての要素が2年間の全14試合に詰め込まれています。この本では試合前、試合中、試合後の各関係者の思い、胸中が語られており、それぞれのプレーで選手がどのように考えていたか、両監督がどのような考えで采配を振っていたか、1992年の日本シリーズを踏まえて、翌年どのような思いで同じ対戦相手とのシリーズに臨んだのかを知ることができます。当時生まれてすらいなかった自分でも、各試合の映像の記憶と相まって、野球の醍醐味を味わうとともに、得も言われぬ興奮を感じます。

関係者のインタビューを見ていくと、この2年の日本シリーズに特別な感情を抱いている方が多いと感じます。当事者もそのように感じているということは、当時試合を見ていたファンの間でこの2年が特別語り継がれているのは頷けます。リアルタイムで見る事が出来なかったことは残念ですが、それでも私と同じように、年月が経ってから知り、思い入れを抱くようになった方も一定数いると思います。ぜひ野球ファンの方には読んでいただきたい1冊です。本書を読んだうえで映像を見ることで、今なお語り継がれるこの2チームの激闘の熱さを感じ取れるはずですし、試合中のプレーや采配に対する見方がより奥深いものになると思います。



株式会社不二
第3営業部

松嶋 祐太

リレー随筆



メルダスシステムエンジニアリング
株式会社
加工機システム部 営業第一課
中野正彦



はじめまして！メルダスシステムエンジニアリング株式会社加工機システム部の中野と申します。

このたび三菱商事テクノス（株）の鈴木 壮さんから歴史ある「リレー随筆」のバトンを引き継がせていただいた事を大変光栄に感じております。一生に一度あるかないかの晴れ舞台に暫しお付合いいただきたくお願い申し上げます。

私はメルダスシステムエンジニアリングに2018年に新卒で入社し今年で27歳になります。弊社は三菱電機産業メカトロニクス製品の代理店として、産業メカトロニクス製品のご提供からソリューションのご提案まで、幅広く取り扱う三菱電機グループの技術商社です。私自身学生時代は部活動に没頭しており、産業メカトロニクス製品に関する知識など一切なくとも不安な気持ちで入社しましたが、諸先輩方から営業マンとしての心構えや言動、業界の習わし、製品知識などについて昼夜を問わず熱くご指導いただいたことでなんとか5年目を迎える事ができました。現在は三菱電機グループ・メルダスの一員として中部地区（主に愛知県、岐阜県）で工作機械の営業に従事しております。

さて、社会人になり5年という月日が経過し、「新米」という言葉が似合わなくなった今日この頃ですが、去る5月に長男が誕生し「新米」パパとなりました。出産予定日はゴールデンウィークの後半で、休日料金など多額の追加料金が発生すると身構えておりました。そんな親の心配を察したのか、連休が明けるまで母親のお腹で待機し、追加

料金のかからない平日の昼間に産まれてきてくれるという最初の親孝行をしてくれました。冗談はさておき、妻は妊娠が発覚してからというもの、好物のコーヒーやイクラが飲食できなくなり、妊娠後期には寝返りができなくなるなど、非常に制約が多い生活をしておりました。そんな不自由な生活をしながらも赤ん坊をはぐくみ、自分には想像もできない痛みにも耐え抜き、やっとの思いで元気な赤ん坊を出産してくれた妻には感謝の思いしかありません。（今まで以上に頭があがらなくなっていました・・・）

妊娠から出産という一大事を間近で体感し、日常生活のすべてが「当たり前」では無く、何事にも「感謝」の気持ちを持たなければならないという事に気づかされました。これは日常生活だけでなく、仕事にも通じていると思います。私自身、日ごろの営業活動を振り返りますと、ついつい「当たり前」と思ってしまう「感謝」の気持ちを無くしてしまっている事が多いなと気づきました。今後は愛する家族やお客様のお役に立てるように「感謝」の気持ちを持ち日々精進していく所存でございます。

以上、非常に拙い内容ではありますが、いつかお仕事でお会いした際に話のネタにいただければ幸甚でございます。

▶次号は株式会社山善 機械事業部 外山和樹様
にお願いします。フレッシュで好青年な営業マン
です！

“

工作機械と私

”



株式会社トミタ
東日本営業部 神奈川営業所
所長

米田 慎吾

私と工作機械の出会いは、小学生で10歳位の時です。

私の父が東大阪市で町工場を営んでおり、長期休みの時にお小遣い欲しさに家業を手伝い、卓上ボール盤で穴あけやタップ加工の作業をしていて、度々、ドリルやタップを折ってしまい、皆から「センスが無いね」とよく言われたことを昨日の事のように思い出しますが、ドリル加工とタップ加工の力の入れ具合の手の感覚は40年以上経った今でも不思議と覚えております。

そんな経験もあってか、縁が導き、機械商社の株式会社トミタに1991年に入社し、大阪から関東にやってきた私なのですが、最初に困ったことは電話番の仕事でした。

どうしても関西弁が出てしまい、先輩からも注意を受け、意識して繰り返す中でようやく標準語で話せるようになり、当時の先輩には今でも大変感謝しております。

それから3か月程が経ち、上司から一度同行するから今後は外回りの営業をするよう指示され、ずっと社内にはいた私は嬉しくてたまらず感動しきりでしたが、時代はバブル崩壊の最中でもあり、機械も工具の知識も無かった私にとっていきなりの営業活動はとても厳しく、当然何も売れずに見積する事すらも無く、ただひたすらお客様の訪問を繰り返してばかりで、段々挫けそうになり、上司や先輩に相談しましたが、回答は何故か皆同じで「あなたなら絶対売れるようになるから」と。

私はその言葉を信じ、めげずにひたすらお客様訪問を繰り返す中で、ようやく数社の機械メーカーの営業の方々とも仲良くなれ、その甲斐あって空回りせず仕事が進むようにもなり、仕事の楽しさを感じられるようになりました。

あの時、先輩方が言いたかったのは、「信念を持って、誠実に、真摯に」行動すれば自ずと人間関係が築け、必ず道は開けるという当たり前の事でした。

その後、弊社もバブル崩壊後の冬の厳しい時代を経る中、規模の大きいユーザも任せてもらう事になり、景気も好転の兆しが見えてきた時期で、ようやく売上数字が上がるようになってきましたが、当時の上司は数字に厳しく、予定した月に商談が纏まらないまま、上司が待つ会社に戻る勇気が湧かず困った記憶が有ります。今となれば、このことも「会社とは世の中に貢献するもの」、貢献の度合いが売上げであり、会社の価値だからこそ数字に厳しくするものという経営の基本を学ばせて頂いたと感謝しています。

その後、何回かの転職を経て、現在の神奈川県勤務地に移り今に至りますが、この間、リーマンショック・東日本大震災・円高・コロナ禍等々の社会情勢が変動し、工作機械の販売方式も機械単体販売から自動化省人化・一気通貫のライン化と前後工程も理解する事が必須となるなど様変わりし、物から事（コト）の販売に変化して行き、更にはコトをクリエイトする時代になると考えられます。

時代は変われども工作機械は摺合わせ作業に変わる技術革新が起きない限り、日本の地位は今後も変わらないと確信しております。

それをベースにIoTやDX等々を推進する事で、業界は更に発展して行く筈です。

「人生は一生勉強」

これからも、長い営業活動を通じて学ばせて頂いたことに更に日々を積み上げ、人との繋がりを大切に、社会の発展に少しでも寄与できるよう、お手伝いを続けて行きたいと考えます。



私の 健康法



キタムラ機械株式会社
大阪営業所 所長
藤野 清一

今年でキタムラ機械株式会社に入社して37年目になりますが、入社時は工場勤務でもあり、若いこともあって地元の友人や会社の同僚・先輩方とよく色々出歩き、スポーツも行ってそれなりの運動も行っていましたが、名古屋・大阪の営業所への勤務となってからは、ほぼ毎日仕事での車移動の日々となり、休日あまり動かない生活で運動もあまり行う機会もなく、健康という生活にも程遠い状態ではなかったかと思います。

体重も、昔から見れば食生活の影響もあり10kg以上は確実に増えており、昔のスーツがはまらない状況にもなり、健康診断では早くから高血圧・脂肪肝を言われ、今の営業職では大方の方々も共通点があるような健康状態でないかと思います。

今まではこの生活状況を特に何の疑問も持たずに過ごしてきておりましたが、ここ3～4年は、年も取ったこともあり、疲れも残りがち、体重も徐々に増えていく傾向となり、医者からも運動を勧められていました。また、趣味という趣味も持たない生活でしたので、何か今後長く続けていける趣味を兼ねた健康法がないかと探していましたところ、ある雑誌で見たハイキングのワードにピンときて3年前からハイキングを行うようになりました。

元来、楽な方に行く性格の為、ハイキングを簡単で楽な趣味・運動と思って始めましたが、いざ始めてみると結構きつく、意志が強くないと続かない運動であることを思い知らされましたが、今も何とか続けております。

幸いなことに、今勤務しております大阪営業所の周り（関西地区）は低山のメッカで、ハイキング人口も多いこともあり同じ仲間が結構いることもわかりました。

関西地区は1年を通してハイキングを行える環境でもあり、続ける趣味としても、思い立った時にすぐにいけることは利点であると思います。

5月～6月は特に春のベストシーズンであり、コロナ禍ながら、ハイキングをおこなう方で山が人で渋滞していることも、実際行って判ったことでした。

ハイキングでは、高くても1,000m級までの山をゆっくり自分のペースで無理せずに登っていきますが、途中の急坂、長い登りの階段や、岩場、足場の悪い沢づたいを登っていくときは結構苦しく、幾度も帰ろうかと心が折れそうになる自分と戦いながら進んでいきます。

ただ、途中の景色や季節の花々を見て心が癒され、特に頂上にたどり着いた時の達成感は何にも替え難いものがあります。加えて、頂上で沸かす1杯のコーヒー、おにぎりのおいしさに癒されると、「また登ろう」と思う次第です。

これからのシーズンは気温も上がり暑くなり、熱中症とも戦いながら汗だくで登ることになりますが、頂上から降りて、近くの温泉に行って汗を流すことがこれまた最高の癒しになります。

ハイキングは、今の営業の仕事と共通することもあり、最後まで苦しくともあきらめずに一步一步着実に続けることで、おのずと結果がついてきて最後に有終の美で終われることを実体験できる場でもあります。さらには、頂上での達成感により心のリフレッシュ、歩くことでの運動による足の老化防止、体力の維持、汗をかくことでの体のリフレッシュと、一石二鳥の趣味を兼ねた健康法であると思います。

写真は、大阪で2番目に高い5月に上った、葛城山のつつじ畑です。

この趣味を兼ねた健康法を今後も続けていきたいと思います。



私の好きなお店



株式会社国興
人事総務部 部長
矢澤 節子

私の紹介する大好きなお店は長野県諏訪市にあります「うまいもん処 和華松」さんです。

松澤さんご夫妻が営まれているお店で名前の由来は和食の「和」中華の「華」松澤さんの「松」で「和華松」。

6年前に主人を亡くし、一人暮らしの私にとって仕事とプライベートを区切る「リセットする場所」が飲食店です。もちろん美味しい物を食べる事が目的ですが、お店のスタッフの方々と会話をする事が何よりの楽しみで、お酒は全くダメなのにお酒を提供するお店に何う事が多い中で「和華松」を勧める理由、それはお料理の美味しさと提供時間の速さに加え、大将と女将さんのお客さんへの気配りです。

大将は自費で小説を何冊も出版されていて、地元でファンタジー作家として本人出演のラジオドラマも放送されているという異色の経歴。私も拝読しファンになりました。特に最初に読んだ「なんでも雑貨」は発想が面白くて早く続編を出して欲しいと懇願すると「女将さんの財布の紐が・・・」と苦笑する。だから会話が楽しい。メニューもお勧め料理の短冊も大将の手書きです。

女将さんはとにかく明るい。落ち込んでいる時でも女将さんの明るい笑顔と会話「笑声（えごえ）」に癒され、とても前向きになります。

和食と中華、そして創作料理が楽しめ、新鮮なお刺身や麻婆豆腐もお勧めです。中でもお勧めするお料理は季節にもよりますが、大好きなのがもつ鍋です。とにかく出汁が美味しくてメにご飯かラーメンを入れるとこれまた絶品。コロナ禍で時短営業の時はテイクアウトもお願いして、「矢澤さんだから特別ね。」と応じて頂いたことも。

月曜日が定休でランチメニューは日替わり定食 750円、他にも定番メニューがありご飯、みそ汁、サラダはおかわり自由。毎日変わる「本日のおすすめ」もおためしください。店内にはクイズも用意され、正解すると景品が貰えるイベントもあります。

お客様連れからグループの宴会まで幅広い客層に応え、予算と好みを伝えると満足できるコースをご提供いただけます。

近くには SUWA ガラスの里などの観光スポットもあります。

一度立ち寄るとお二人の人柄に魅了され、食事をした後にお腹も心も満たされて、一日の疲れと明日の活力を得て帰ることが出来るそんなお店です。

出張で諏訪にお越しの際は是非お立ち寄り頂きたいお店です。

うまいもん処 和華松

住所：長野県諏訪市豊田1735-1 TEL:050-5572-6274



お店の外観と店内



大将と女将さん



自費出版したファンタジー小説



大好きなもつ鍋

会社生活に 於ける 私の初〇〇



株式会社山善
機械事業部
北関東・東北営業部
業務課 課長

早川 満喜子

初めての転勤

初めまして。株式会社山善の早川と申します。今回担当させていただくことになりました。よろしくお付き合いください。

さて、これから私の初転勤の話をさせていただきます。

営業されている皆様にとって転勤は会社員生活の中において避けては通れないものかもしれませんが、私はずいぶん長いこと、東京に居続けるという恵まれた環境にありました。とは言っても、ずっと同じ場所に通い続けたわけではなくて、会社の所在そのものは何度も変わっていったので通勤する場所はそれに合わせて変わっていきました。入社した時に会社は東京のご真ん中、東京タワーのすぐ足元にありましたがその後だんだんと周辺部へと移り、一時は組織に東京と名前がついているものの川崎市のはずれにあった時期もありました。

その後また会社の移転があり最終的には品川が勤務地となりました。都内でも1.2を争う乗降客を誇り、毎朝TV局の定点カメラを横切り会社に向かう生活。雨でも濡れずにたどり着ける場所にあり、通勤には何の不自由もありませんでした。

ところがある日上司に呼び出され転勤の話を持ち出されました。いずれそういう事もあるだろうと思ってはいましたが、いざ目の前に来るとやはり戸惑いと不安が沸き上がりました。正式に異動が決まってからの1か月は決算とかぶっていたこともあり、その処理と引継やらで感傷にひたる間もなく、あっという間に過ぎていきました。

最終入社日に思いがけなく花束をいただき、ようやく、ここではなく次の場所に移るんだと実感しました。

ところが、翌日新しい職場に出勤して挨拶を終えてみると、勝手がわからず仕事が全然進まないのです。今までと似たような仕事なのに環境が変わっただけでなぜこんなに順応できないのかとドーンと落ち込みました。そして自己の適応力の無さを痛感しました。

落ち着いて周囲を見渡してみると皆普通に仕事をしていて、自分一人が取り残されたような気になり、焦りで苦しかったことを今のように覚えています。皆、転勤のたびにこういう経験をしているのかなあ、大変だなあ、これからは異動してきた人には親切にしようと思うと強く心に思いました。そんな中で転勤先の皆さんの親切にもとても助けられました。こうして今振り返ってみると、いい経験ができたなと思います。

長く同じ場所に居続けていたら気が付かなかったこと、これからも忘れずにいたいと思います。



海外 だより

「ベトナムの製造業の発展に貢献したい」

Mitsubishi Electric Vietnam Co., Ltd.
Factory Automation Division
Mechatronics Dept
Deputy General Manager



松 藤 陽 一

From Vietnam

現在、私は三菱電機グループのベトナム現地法人 Mitsubishi Electric Vietnam Co., Ltd. の駐在員として2021年3月よりベトナム南部の都市ホーチミン（旧称サイゴン）に住んでおります。街中ではバイクが縦横無尽に走っており、歩道であっても安心して歩く事はできませんが、近代的な高層ビル群と昔ながらの建築様式の建物が混在した、とても活気のある街です。

Mitsubishi Electric Vietnam Co., Ltd はホーチミンに本社を置き、ハノイ、ダナン、ニャチャン、カントーとベトナム国内に4つの支店があります。ベトナムではFA（Factory Automation）機器製品、家電・空調製品の輸入販売及びサービスを展開しており、私の所属するFA・Mechatronics Deptでは工作機械を主に取り扱っております。ベトナムでは北部ハノイと南部ホーチミンの近郊に多くの企業が製造拠点を設けています。日系企業のみならず韓国系企業の投資も続いており、またサプライチェーン多元化を目的とした中国からの生産シフトの動きもあり、今後も継続的な発展が見込まれます。既にベトナムには多くの機械商社や機械メーカーが進出しており、現地でのサービスを展開されております。弊社もFA機器事業ならびに工作機械事業を通じてベトナムの製造業の発展に貢献するべく事業を展開しております。



三菱電機ホーチミン
駐在員一同
(筆者は右上)

会社近くの
交差点



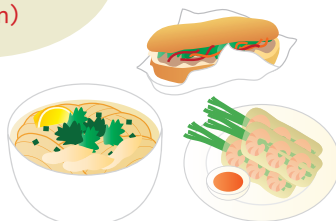
ホーチミン
人民委員会庁舎と
ビンコムセンター



東南アジアで
1番高い高層ビル
Landmark81
(461m)



SEA Gamesサッカー
ベトナム優勝後の街



2020年2月頃より始まったCOVID-19感染拡大ですが、初期段階では、ベトナムは比較的感染を抑え込んでおり、コロナ対策の優等生とされておりました。しかしながら、21年2月頃より状況は一転し感染者は急速に増えていき、ついにベトナム政府は、21年7月からは約3カ月間に亘る都市封鎖（ロックダウン）を実施しました。仕事どころではなくなり、日々の生活さえもままならなくなりましたが、社員は慣れないオンライン業務を辛抱強く続けてくれました。私の業務はオンラインに移行できましたが、多くのお客様は製造業であり、都市封鎖の期間中ずっと工場内で寝泊まりされている方々も沢山いらっしゃいました。本当に頭が下がる思いでした。

22年10月にやっと都市封鎖が解除され経済活動は徐々に再開されましたが、経済活動の再開に伴い感染が拡大していきました。製造業のお客様の中には、社内感染者が増え、稼働率を下げざるをえなくなったり、操業停止となったケースもあり、日本のニュースで「ベトナムから部品が供給されず生産休止」といった報道がされていたのは記憶に新しいと思います。

22年2月以降、ベトナム政府はニューノーマルを宣言し、様々な規制が緩和され、経済は急速に動き出しました。コロナ禍における経済低迷で廃業した飲食店も多々ありますが、ベトナムの街も活気を取り戻し、5月からはビジネスマン、観光客も徐々に増えてきております。また、5月には東南アジア競技大会（SEA Games 31）がハノイで開催されました。ベトナムではサッカーが非常に人気のあるスポーツで、ベトナム代表チームが優勝し、ホーチミンの街も深夜まで大騒ぎでした。ベトナム国民の団結心と若さを実感する事が出来ました。

ベトナムは新興国であり制度的に脆弱な部分もありますが、約1億人弱の人口と若年層の比率の高さによる旺盛な国内消費に加え、諸外国からの投資も継続するものと考えます。この魅力的な国で海外駐在員として生活できる事への感謝を忘れず、今後の業務に励んでいきたいと考えています。

2022年度SE教育「基礎講座」実施報告

日工販 SE 教育におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2020年度以降の SE 教育は全てビデオ配信型講義としてまいりました。

2022年度、第30期となる「基礎講座」につきましては、感染状況を見ながらも集合形式による対面型で開講する方向で各方面との調整を行ってまいりましたが、座学講義については引き続きビデオ配信形式を採用し、ただこの度3年ぶりに基礎講座の特徴でもある実習（於 日本工業大学：希望者のみ）を組み込んで開講することといたしました。

工作機械の基礎知識習得の観点から座学講義に135名（うち実習参加に69名）が参加され、営業経験3年未満の受講者は全体の91%に上りました。

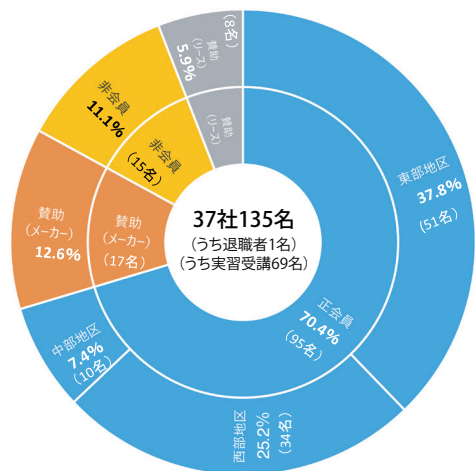
受講者におかれましてはここで得られた成果を今後の営業に活かされますようお願いいたします。

座学講義開講期間：2022年6月1日（水）正午～
6月30日（木）正午迄
（約1か月間）

実習講義開講日：2022年6月10日（金） or
6月21日（火）

実習会場：日本工業大学 工業技術博物館 &
機械実工学教育センター

会員区分別受講者数割合



《カリキュラム》

〔座学講義〕

（敬称略）

- | | |
|-----------------------|------------|
| ①「工作機械とは」 | 監修・編纂：西川 敬 |
| ②「工作機械の要素・切削理論・工業材料他」 | 講師：上野 健治 |
| ③「プレス機械の基礎」 | 講師：畑 幸男 |
| ④「仕事の取組み姿勢について」 | 講師：牧野 修司 |
| ⑤「工作機械業界の過去・現在・未来」 | 講師：中島 和彦 |



館長ご挨拶時の受講の様子



日工大 工業技術博物館 清水館長

〔実習〕

① 講師説明による日本工業大学工業技術博物館の見学（工作機械の発展の歴史を学ぶ）



蒸気機関の学習



② 同大学「機械実工学教育センター」内設置設備見学及び5軸加工機実機の実演見学



日本工業大学のご協力もいただき、実習も含めて工作機械の基礎を理解されたことと思います。
 受講者各位には、会社に戻られて今後それぞれの分野で活躍されることを祈念いたします。
 また、活躍の証として近い将来「日工販 SE」資格の取得に挑戦されることを期待しています。
 当講座の開催にあたり、多大なご協力をいただきました日本工業大学工業技術博物館の清水館長を始め、ご指導してくださいました講師の皆様に紙面をお借りして心より御礼申し上げます。
 ありがとうございました。

日工販SE合格者 第238回発表

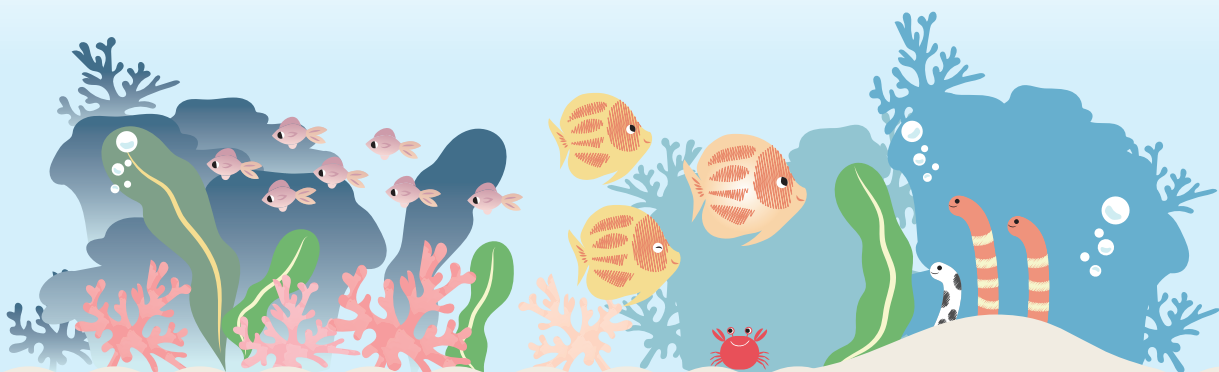
2022年6月・7月の合格者は8名です。

2022年6月 合格者数：4名

認定No.	会社名	合格者名
22-31-3803	三井物産マシンテック（株）	牧元 良平
22-31-3804	三菱商事テクノス（株）	大河内 基哉
22-31-3805	サンコー商事（株）	吉良 孔明
22-31-3806	金沢機工（株）	東 敬済

2022年7月 合格者数：4名

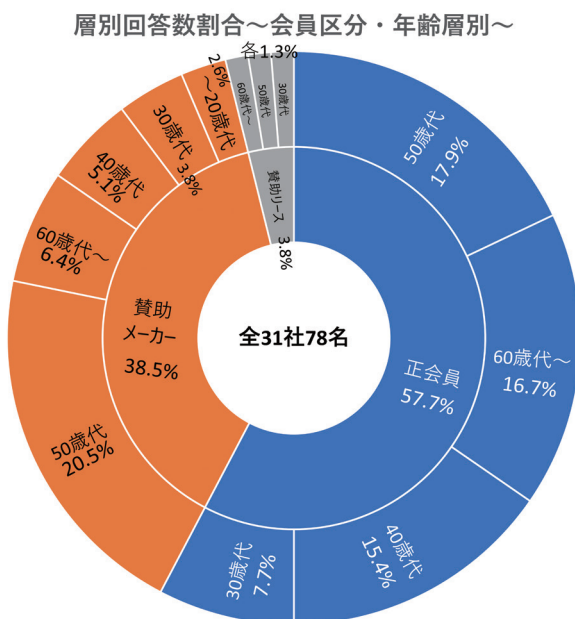
認定No.	会社名	合格者名
22-31-3807	三井物産マシンテック（株）	近藤 亨
22-31-3808	三井物産マシンテック（株）	加藤 悠介
22-31-3809	（株）ジーネット	熊谷 聡
22-31-3810	ユキワ精工（株）	葛 月



2022年度 日工販NEWS会員アンケート 集約結果 (定量情報のみ)

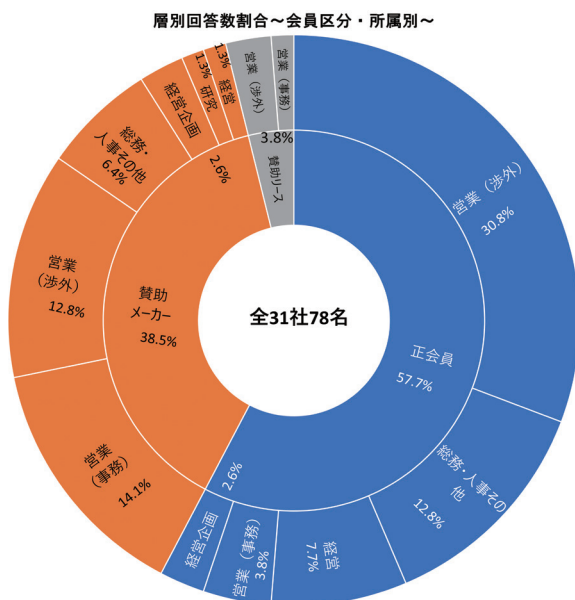
以下のグラフは、2022年度に実施した日工販 NEWS の会員アンケートのうち、定量情報のみを抜粋したものです。個別意見については、8月に実施予定の調査広報委員会に報告の上、今後に向け内容改善等対応に繋げる予定です。

【グラフ 1】



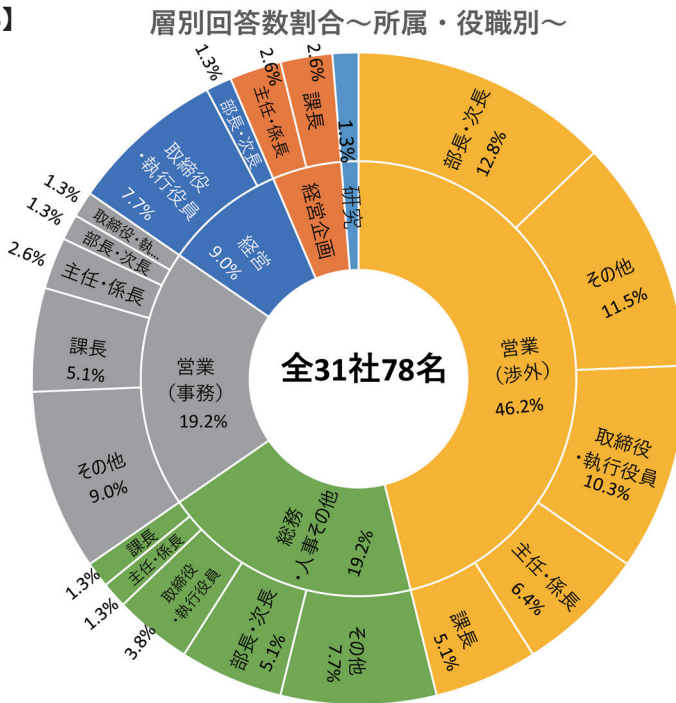
回答割合は正会員：賛助会員で、ほぼ6：4の割合。

【グラフ 2】



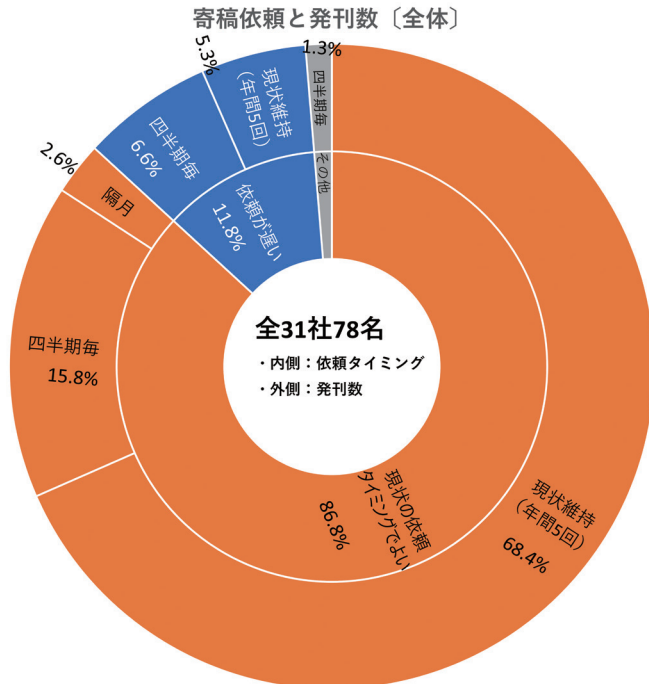
回答者は営業部隊（事務・渉外）の割合が高い。

【グラフ3】



ビジネス部門（営業＋研究）で66.7%
コーポレート部門（経営＋総務・人事等）で33.3%

【グラフ4】

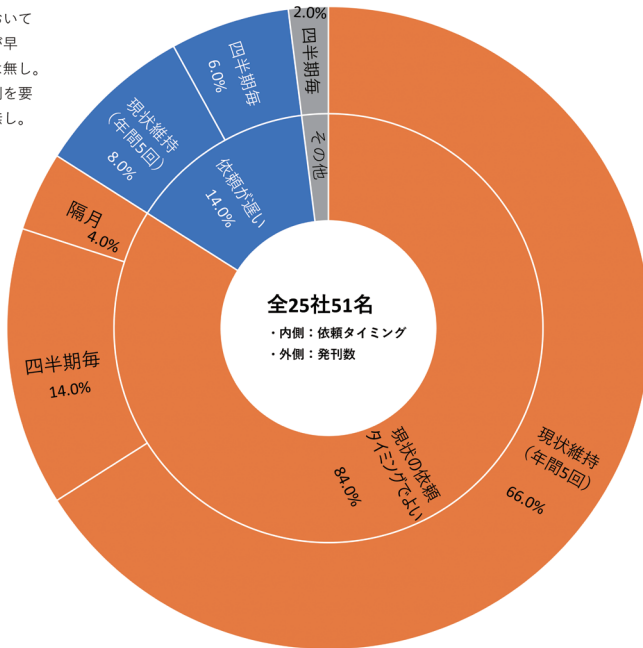


- ①「依頼タイミング」が遅いとの回答が1割を超えている（課題感あり）
- ②発刊数を増やす要望は皆無で、現状発刊数に満足は頂いているものの、「四半期毎の発刊」を可とする回答も全体の2割ある。

【グラフ5】

寄稿依頼と発刊数〔営業部門〕

■寄稿依頼において「タイミングが早い」との回答は無し。
■「毎月」発刊を要望する回答は無し。

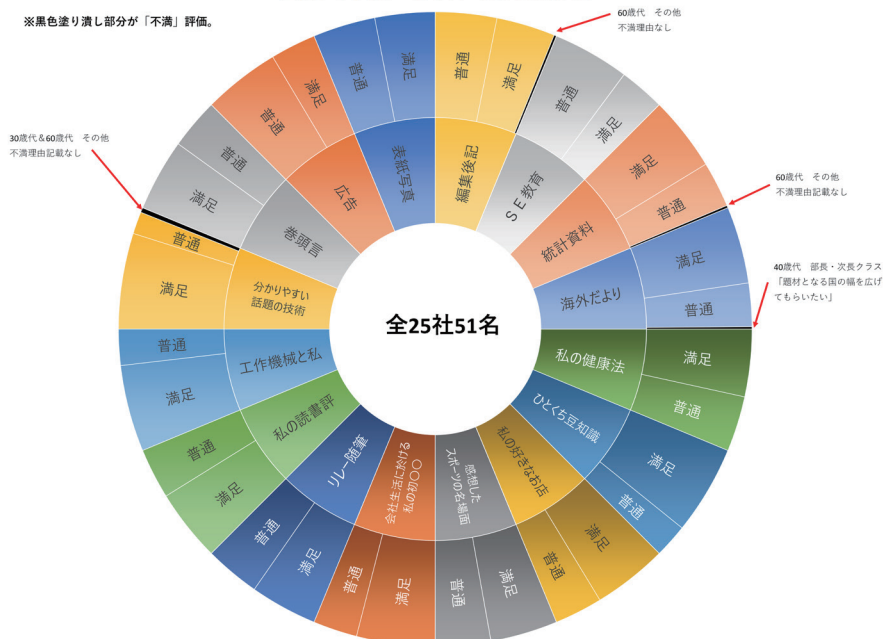


前グラフを「営業部門のみ」で集約したもの。
「四半期ごと発刊」の割合は下がっているものの、依頼タイミングが遅いとの回答が2ポイント上昇(現状維持は2ポイント減少)。

【グラフ6】

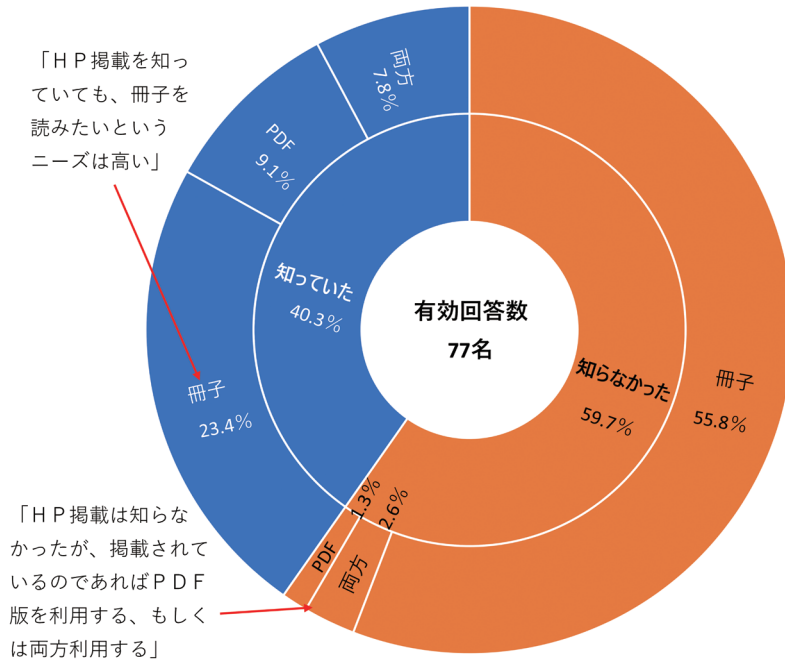
営業（事務・渉外）題材別評価

※黒色塗り部分「不満」評価。



【グラフ7】

ホームページへの掲載認知度および主たる利用対象



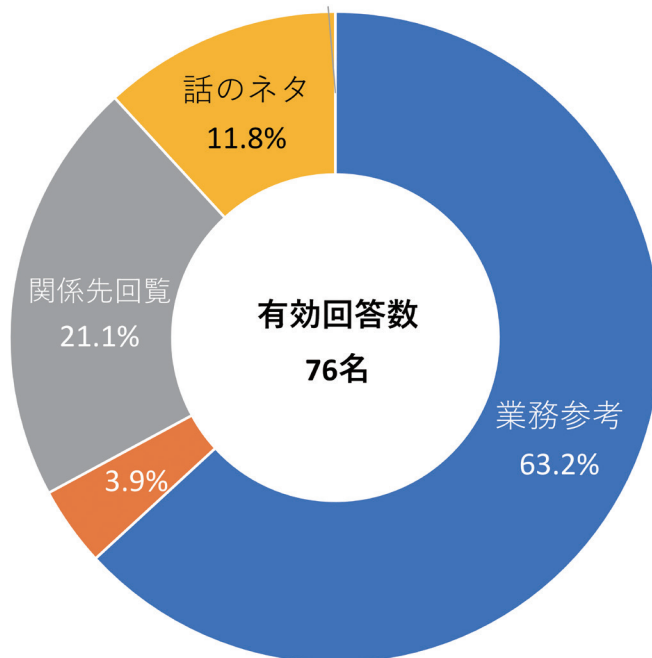
約6割はHPへの掲載を知ってもらえていない。
→日工販HP「会員専用ページ」参照(掲載中)。

<http://www.nikkohan.or.jp/member/news/index.html>

【グラフ8】

日工販NEWSの活用方法

その他：0.0%



「個人的な楽しみ」は、HPにPDF版があることを認知している回答者からの回答。

- 業務参考
- 個人的な楽しみ
- 勤務関係者回覧
- 話のネタ利用
- その他



統計資料

工作機械・FA流通動態調査1

統計1

単位) 百万円

37社合計		受 注				売 上					
調査月次		2022/05	前月比	前年比	2022/01 ~2022/05	前年度比	2022/05	前月比	前年比	2022/01 ~2022/05	前年度比
広義の 工作機械	工作機械	25,506	-13.4%	38.9%	142,683	42.8%	19,431	18.1%	24.7%	117,713	26.0%
	ロボット・自動化機器	3,818	86.7%	140.0%	13,404	12.8%	1,278	3.0%	-35.3%	8,126	-30.8%
	CAD/CAP・自動プログラム	156	-10.3%	-5.6%	1,096	-9.6%	178	-15.2%	30.1%	1,372	31.0%
	鍛圧・プレス・溶接	5,020	531.8%	757.4%	9,213	76.3%	889	539.4%	144.8%	4,386	-31.9%
	ダイカスト・押出・射出	1,727	53.2%	20.7%	6,824	0.3%	852	8.7%	12.4%	5,136	19.1%
	小計	36,226	7.9%	63.6%	173,221	38.5%	22,628	20.2%	20.2%	136,733	16.9%
工作機械以外の扱い商品		26,294	-31.9%	-73.5%	155,032	-37.4%	23,172	1.6%	7.9%	138,067	24.5%
合計		62,520	-13.4%	-48.5%	328,253	-11.9%	45,800	10.0%	13.7%	274,800	20.6%
従業員数		1,611	0.1%	0.2%							

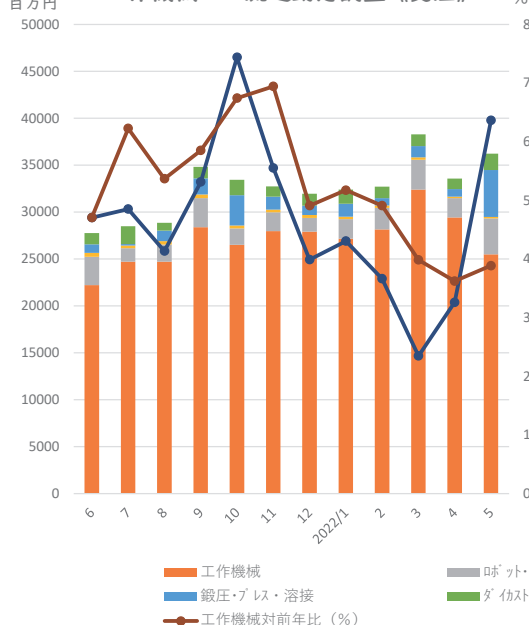
統計2

単位) 百万円

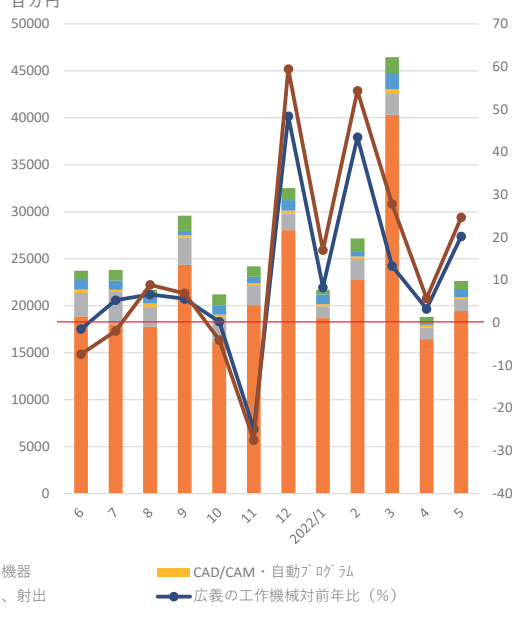
28社合計		受 注				売 上					
調査月次		2022/05	前月比	前年比	2022/01 ~2022/05	前年度比	2022/05	前月比	前年比	2022/01 ~2022/05	前年度比
内 訳	直販	23,960	-12.5%	-37.9%	127,810	-5.6%	17,573	10.0%	3.7%	105,160	8.9%
	(内リース)	190	-76.6%	-66.2%	2,949	-2.7%	504	-3.5%	27.6%	3,101	-3.1%
	卸	9,958	2.9%	41.4%	52,716	65.5%	7,722	17.3%	69.9%	47,131	68.0%
	輸入	2,149	12.8%	-87.5%	11,889	-69.0%	1,959	17.7%	64.7%	10,133	-10.9%
	輸出	14,911	-37.9%	-70.4%	89,577	-27.2%	11,961	5.6%	23.3%	70,080	46.4%
	(内間接輸出)	2,830	33.7%	-80.1%	10,860	-62.7%	1,394	0.5%	44.4%	12,611	151.2%
従業員数		1,125	0.1%	1.6%							

注: 会員80社中、統計1に関しては37社、統計2に関しては28社の回答を得て集計したものである。
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比であり、データ提供会社総数は40社である。

工作機械・FA流通動態調査《受注》

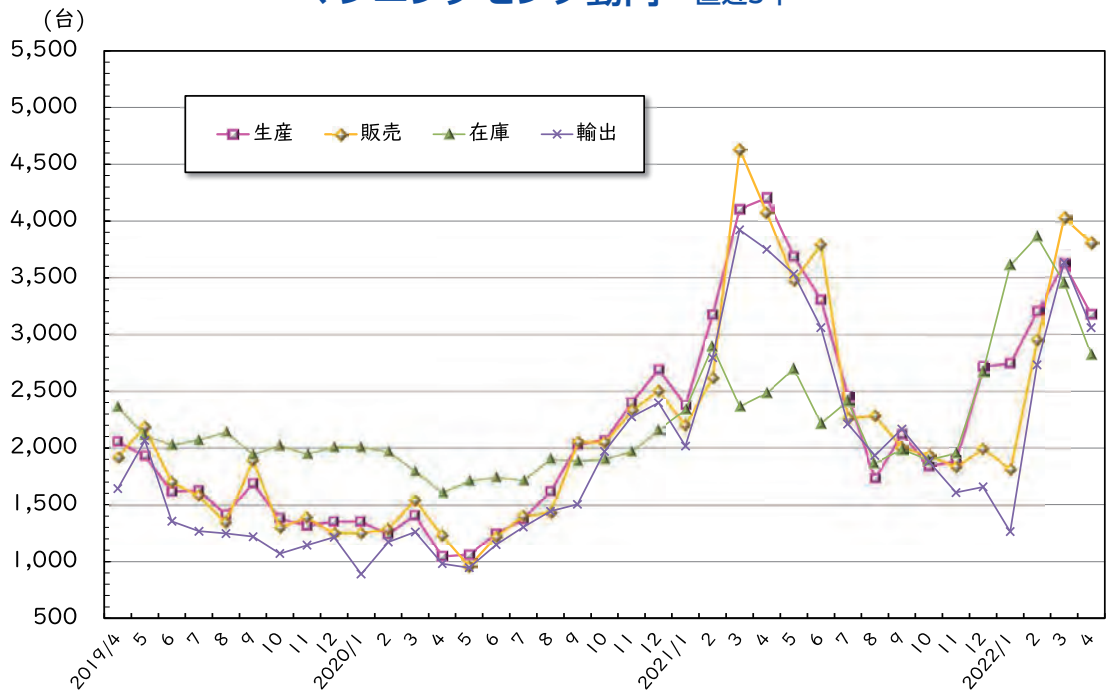


工作機械・FA流通動態調査《売上》

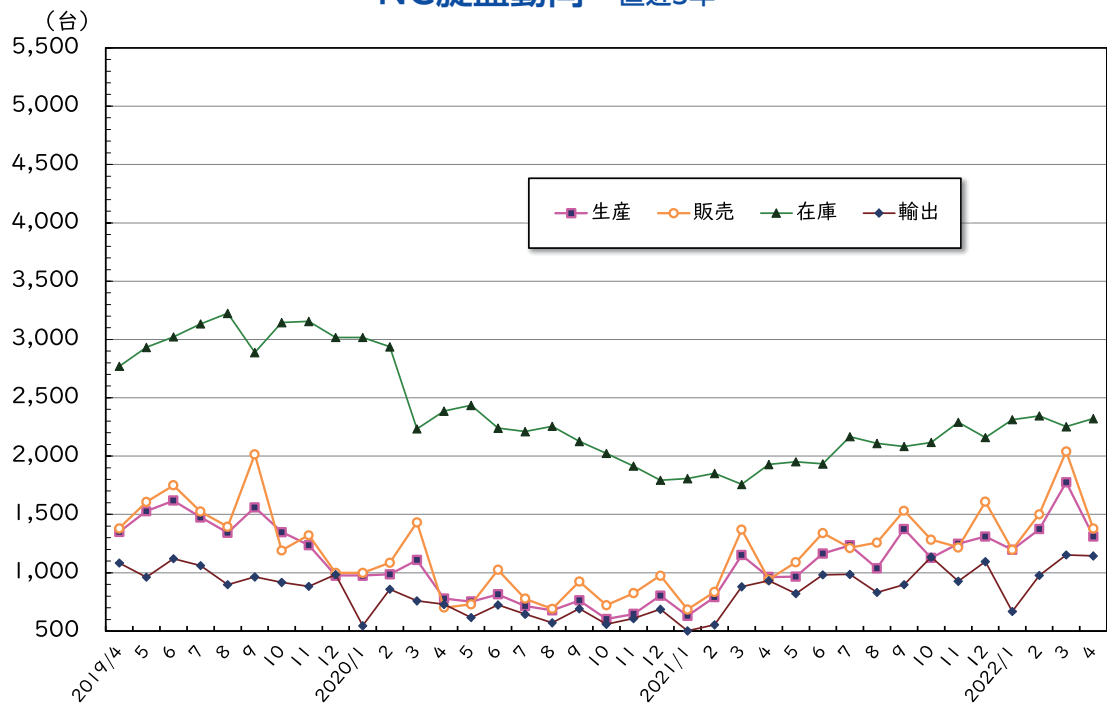


見てわかる 3年間の代表2機種トレンド

マシニングセンタ動向 ~直近3年~



NC旋盤動向 ~直近3年~



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

工作機械業種別受注額(2022年5月)

2022年6月22日発表

(単位: 百万円・%)

需要業種	期間	2021年	2021年	2021年	2022年	前年	2022年	前年	2022年	前年	前年	前年
		累計	10月～12月	1月～3月	1月～5月	同期比	累計	同期比	5月分	同期比	前年同月比	
機械製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	17,981	3,955	5,043	8,198	127.5	129.1	1,600	137.7	102.9	167.7	
	2. 金属製品	40,274	11,050	12,157	20,899	110.0	175.0	3,506	174.7	67.0	126.2	
	3. 一般機械	200,489	60,702	62,389	104,832	102.8	168.8	19,948	163.4	88.7	150.1	
	(うち金型)	26,785	8,932	9,268	15,275	103.8	218.6	2,325	220.8	63.1	190.6	
	4. 自動車	115,123	30,300	30,432	54,925	100.4	111.3	11,396	119.8	87.0	149.7	
	(うち自動車部品)	84,015	21,372	20,645	37,684	96.6	105.1	8,354	115.7	96.2	142.7	
	5. 電気機械	45,020	15,206	18,360	26,827	120.7	261.3	4,543	224.6	115.8	181.3	
	6. 精密機械	24,423	7,920	9,035	13,341	114.1	247.7	2,435	184.0	130.1	112.0	
	5～6. 電気・精密計	69,443	23,126	27,395	40,168	118.5	256.7	6,978	209.3	120.4	149.1	
	7. 航空機・造船・運送用機械	16,026	6,264	4,940	7,634	78.9	153.7	1,603	152.1	146.9	180.3	
	(うち航空機)	4,791	1,731	1,216	2,081	70.2	106.7	674	133.0	352.9	204.9	
3～7.小計	401,081	120,392	125,156	207,559	104.0	160.1	39,925	154.7	94.0	150.8		
8. その他製造業	26,774	7,449	5,744	10,841	77.1	117.9	3,049	132.6	148.9	182.1		
9. 官公需・学校	7,349	3,185	484	612	15.2	176.0	74	90.5	137.0	34.3		
10. その他需要部門	10,582	3,409	3,259	5,180	95.6	148.3	897	138.5	87.6	119.3		
11. 商社・代理店	6,283	2,045	1,424	2,639	69.6	146.1	430	134.8	54.8	115.3		
1～11.内需合計	510,324	151,485	153,267	255,928	101.2	157.4	49,481	153.6	93.0	148.9		
12. 外需	1,031,095	282,365	294,912	500,583	104.4	131.2	103,853	124.1	102.0	114.5		
1～12.受注累計	1,541,419	433,850	448,179	756,511	103.3	139.1	153,334	132.7	98.9	123.7		
(内NC機)	1,514,935	424,546	439,808	743,013	103.6	138.7	151,174	132.4	99.4	123.8		
販売額	1,283,499	336,819	391,490	614,063	116.2	127.9	115,711	122.3	108.3	114.0		
(内NC機)	1,261,733	331,252	385,388	605,156	116.3	128.3	114,186	122.8	108.1	114.2		
受注残高	701,005	701,005	757,694	843,453	108.1	169.7	843,453	169.2	104.7	169.2		
(内NC機)	681,753	681,753	736,173	819,610	108.0	170.2	819,610	169.3	104.7	169.3		

出所 (一社)日本工作機械工業会



議事録

第298回定例理事会議事録

日 時：2022年5月11日（水）14:30～16:30
場 所：WEB開催
出席者：会長、副会長2名、専務理事、理事22名、監事3名、事務局

会長挨拶の後、審議に入った。

[付議事項]

(1) 総会議案：

① 2021年度事業報告案・決算案：

専務理事より説明。新型コロナ感染拡大の影響で特に地区委員会関係活動ができず、昨年同様一般会計は収益が上回った。教育特別会計は皆様のご尽力で受講申込み者が予算時の想定より多くなった。〔全理事了承〕

② 2022年度予算案・活動方針案：

専務理事より説明。コロナの影響を考慮せず、通常の活動ができる前提になっている。〔全理事了承〕

③ 会長・副会長人事：

新会長には、現中部地区委員長である㈱井高の高田研至氏を推薦する旨提案。また副会長には現副会長代行の丸紅テクノシステム㈱金子隆視氏を新任、池浦・赤澤両副会長は留任とする案を提案。来期には役員改選選挙があるので、当面1年間の任期。〔全理事了承〕

《高田氏コメント》

依田会長ご苦労様でした。依田会長・冨田前会長もしっかりやってこられたので、責任をもって会長をやって行きたい。その為には皆様のご協力が必要。皆様のご協力を得ながら日工販の発展のために努力していくので皆さん宜しく願います。

④ 暫定会費継続の件：

既に3月度理事会で2021年度の暫定会費を2022年度も継続することを決定し実施済みであるが、会費については総会承認事項故追認をお願いするもの。〔全理事了承〕

(2) 第53回総会（6月3日）開催方法の件：

① 事務局より下記要領にての開催を提案：

- 第一ホテル東京でのリアル開催（Web併用）
 - 12:15～12:55：総会（経産省来賓を要請）
 - 13:10～13:45：弁当での昼食
 - 14:00～15:30：講演会（門倉貴史氏「今後の世界情勢と経済の見通しについて」を予定）
- 〔全理事了承〕

[報告事項]

(1) 理事交代：

山善㈱ 鉛理事→甲斐英樹理事（機械事業部 副事業部長）4/1
ユアサ商事㈱ 佐古理事→荒井正明理事（機械エンジニアリング本部長）4/1

(2) 会員退会：

賛助会員：近畿総合リース㈱（JA三井リース㈱との統合によるもの）。

(3) 流通動態調査2022年3月結果

(4) 基礎講座募集申込状況：

120名の予定に対して135名の申込。内、日工大の実習に参加予定が69名。

以上

2022年度日本工作機械販売協会 中部地区 正・副懇談会議事録

日 時：2022年6月20日（火）10：00～12：10
 会 場：（株）井高 本社5階会議室

議 題

①日工販定例理事会、通常総会報告

第1号議案から第4号議案の報告

②中部地区の今後について

- 今後の日工販及び地区行事への参加意識向上のため、地区委員長任期を2期4年とする。
- 地区において、副委員長を置くなど、協力体制の強化を図る。

③中部地区委員長交替の件

株式会社 東陽 代表取締役社長 羽賀象二郎様

④2022年度 行事計画について

- 10月20日（木）製品勉強会（JIMTOF 関連）
- 10月21日（金）日本工作機械販売協会 50周年式典 未定
- 12月1日（木）中部地区 懇親忘年会
 講師 トヨタ自動車 ものづくりセンター長 近藤様

その他 未決事項

工場見学会 バスの利用は控え、近場で駐車場を確保できる会社
 懇親ゴルフ会 土曜日開催とする
 技術勉強会
 中部地区 正・副 情報交換会

情報交換会

- アルコールチェックについては、各社各様の対応
 現在 クラウド管理迄している会社1社、各自に持たせている会社5社以内
 チェック装置の購入が難しく、スタートを切れていない
 アルコールチェック義務化の10月施行は全ての会社が理解しているが、解釈はそれぞれ。
 スタート時はチェックシートでの対応が太宗。
- 各社の業績：全ての会社が2018年、2019年比では、20%から30%ダウン。
 中部地区は厳しい状況。今後の自動車関係の回復は3～4年は困難。
- 女性の活用について
- 日工販の販売金額と日工会国内の販売データについて
- 納期問題及び値上げについて

以上

■ 会員消息

(賛助会員) 2022年7月1日 商号変更
OKK 株式会社 → ニデックオーケー株式会社

■ 編集後記

先日、義父の喜寿のお祝いを行いました。コロナ感染症の影響で帰省を自粛しておりましたが、久しぶりに3世代揃っての食事やプレゼントを渡したり、道の駅まで買い物に出かけたり。今まで当たり前でできていたことでも、長い自粛期間を経て行ったため、全てにおいてプレミアム感が増したように感じました。義父へのお祝いの品は、思い切ってiPadをプレゼントしました。当初困惑気味であった義父も、PCより手軽に操作でき、携帯電話より大きな画面で色々なコンテンツを楽しむことに徐々に慣れ、今では手放せないツールの一つになったようです。デジタルネイティブの孫(私の娘)から少し乱暴に指導されている姿も微笑ましいものでした。「習うより慣れよ」はDXを進めるうえで必要な要素の一つかも知れません。

そんな義父のiPadでどうしてもやりたかったこと、それはNHKラジオ英会話の過去放送分を学びなおすこと！若い頃から仕事で海外を飛び回っていたので、英語を忘れないようにと、リタイアしてからもずっと聞いていたようですが、都合で聞き逃した放送を聞く術を探していたようです。この学び続ける姿勢と、いまだに現役さながらの酒豪ぶりは見習っていきたいと思います。

(長友)

この日工販NEWSが手元に届く頃はジメジメとした梅雨が明け、真夏の太陽がキラキラと照りつけている頃でしょうか。

天気も良くなれば、屋外でのスポーツ、キャンプやバーベキューなど、楽しい休日の企画を立てる方も多いと思います。そんな私も最近では週末の天気をとても気にするようになりました。50代になった自分にとって、運動といえばたまに行くゴルフと散歩くらいで、最近走った記憶は歩行者信号が点滅した時くらい。これはまずいとふと思い、今更ながら週末皇居ランニングと、仲間内のフットサルを始めました。まだ少しの期間ですが、辛さの先にある爽快感が心地よく週末のルーティンにすっかり定着しそうです。何かを始めると次の目標が見つかるもので、3年後にはハーフマラソンを、5年後にはまた穂高に登ってみようかなと妄想しております。

良い仕事をするには、心と体の健康を保つ適度な運動は大切なもの。また何か新しい事を始めると、次の目標が見えてくるのは仕事も同じ事。熱中症に気を付けつつ、心と体のケアを仕事にも結び付け、この暑い夏を乗り切っていきたいと思います。

(吉田)



お問い合わせ・ご意見をお寄せください。 ■ E-mail : jmta@nikkohan.or.jp

日工販NEWS July 2022

2022年7月発行

発行	行	日本工作機械販売協会 〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 専売ビル3階 電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879
発行責任者	専務理事	中島 和彦
編集	日工販調査広報委員会	
	委員長	金子 隆視 (丸紅テクノシステム株式会社)
	委員	君村 義人 (伊藤忠マシンテクノス株式会社)
		中村 龍二 (株式会社トミタ)
		金子 智彦 (三菱商事テクノス株式会社)
		長友林太郎 (株式会社牧野フライス製作所)
		吉田 夢輝 (三井住友ファイナンス&リース株式会社)
制作・印刷	株式会社昌文社 〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 電話 03-3452-4931 http://www.sho-shiba.com	

正会員 (全80社)

東部地区 (35社)

(株) 旭 商 工 社
 アルビテクノロジー(株)
 伊藤忠マシテクノス(株)
 イワイ機械(株)
 (株) ウインテック
 大石機械(株)
 (株) カナデン
 (株) カネコ・コーポレーション
 (株) 兼松 K G K
 (株) 京二機
 (株) 共和工機
 (株) 群馬工機興
 (株) 小林機械
 (株) 佐藤商事(株)
 (株) 三機商會
 三洋マシン(株)
 サンワ産業(株)
 シマモト技研(株)
 住友商事マシネックス(株)
 (株) セイロジヤパン
 誠和エンジニアリング(株)
 双日マシナリー(株)
 帝通エンジニアリング(株)
 (株) テヅカ
 (株) トミタ
 (株) 豊通マシナリー
 (株) N a l T O
 日鋼 Y P K 商事(株)
 丸紅テクノシステム(株)
 三井物産マシテック(株)
 三菱商事テクノス(株)
 (株) ヤマモリ
 ユアサ商事(株)
 米沢工機(株)

中部地区 (23社)

石原商事(株)
 (株) 高井
 岡谷機販(株)
 力ト一機械(株)
 釜屋機商(株)
 岐阜機械商事(株)
 甲信商事(株)
 三栄商事(株)
 (株) 三機
 サンコ一商事(株)
 三立興産(株)
 下野機械(株)
 (株) 大成
 (株) 大誠
 (株) 大和商會
 (株) 日本東機商會

浜 松 貿 易 (株)
 (株) 不二
 メルダシステムエンジニアリング(株)
 山下機械(株)
 (株) U - M A C H I N E
 ワシノ商事(株)

西部地区 (22社)

赤 澤 機 械 (株)
 伊 吹 産 業 (株)
 植 田 機 械 (株)
 関 西 機 械 (株)
 京 華 産 業 (株)
 合 田 商 事 (株)
 五 誠 機 械 産 業 (株)
 (株) 桜井機
 (株) ジーネックス
 (株) ダイイチテクノス
 (株) 大幸産業
 (株) 立花エレテック
 (株) タナカ善
 西 川 産 業 (株)
 日 工 機 材 (株)
 (株) ニッツマシナリー
 (株) 日本産商
 (株) マックマシンツール
 (株) マルカ
 宮 脇 機 械 プ ラ ン ト (株)
 (株) 山善
 (株) ユーエイ

賛助会員 (全76社)

製造業 (67社)

アイダエンジニアリング(株)
 (株) アマダマシナリー
 育 良 精 機 (株)
 エヌティーツール(株)
 (株) MSTコーポレーション
 (同) L N S ジ ャ パ ン
 エ ン シ ュ ウ (株)
 オ ー エ ス ジ ー (株)
 (株) オーエム製作所
 オ ー ク マ (株)
 (株) 岡本工作機械製作所
 (株) 神崎高級工機製作所
 (株) 北川鉄工所
 キ タ ム ラ 機 械 (株)
 (株) 北村製作所
 (株) キヤドマック
 キ ャ ム タ ス (株)
 黒 田 精 工 (株)
 三 愛 エ コ シ ス テ ム (株)
 サ ン ド ビ ッ ク (株)
 三 宝 精 機 工 業 株 式 会 社
 (株) C & G シ ス テ ム
 (株) ジェイテクト

(株) シギヤ精機製作所
 シチズンマシナリー(株)
 芝 浦 機 械 (株)
 シ ー メ ン ス (株)
 新 日 本 工 機 (株)
 住 友 電 気 工 業 (株)
 (株) ソンデイツク
 大 日 金 属 工 業 (株)
 (株) 太陽工業機
 高 松 機 械 工 業 (株)
 (株) 滝澤鉄工所
 (株) ツガミ
 津 田 駒 工 業 (株)
 D M G 森 精 機 (株)
 (株) 東京精機工作所
 (株) 東京精密
 東 洋 精 機 工 業 (株)
 (株) ナガセインテグレーション
 中 村 留 精 密 工 業 (株)
 (株) 西田機械工作所
 (株) 日研製作所
 (株) 日進製作所
 ニ デ ッ ク オ ー ケ ー ケ ー (株)
 日 本 電 産 マ シ ン ツ ー ル (株)
 (株) ハイデンハイン
 (株) 初田製作所
 濱 井 産 業 (株)
 浜 名 エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株)
 B I G D A I S H O W A (株)
 フ ァ ナ ッ ク (株)
 (株) F U J I
 ブ ラ ザ ー 工 業 (株)
 豊 和 工 業 (株)
 牧 野 フ ラ イ ス 精 機 (株)
 (株) 牧野フライス製作所
 (株) 松浦機械製作所
 三 井 精 機 工 業 (株)
 (株) ミットヨ
 三 菱 電 機 (株)
 三 菱 マ テ リ ア ル (株)
 (株) M O L D I N O
 安 田 工 業 (株)
 ヤ マ ザ キ マ ザ ッ ク (株)
 吉 川 鐵 工 (株)

リース業 (9社)

共 友 リ ー ス (株)
 J A 三 井 リ ー ス (株)
 十 六 リ ー ス (株)
 首 都 圏 リ ー ス (株)
 昭 和 リ ー ス (株)
 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)
 三井住友ファイナンス&リース(株)
 三 菱 H C キ ャ ピ タ ル (株)
 三 菱 電 機 ク レ ジ ッ ト (株)



日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル

TEL.03-3454-7951 FAX.03-3452-7879

<http://www.nikkohan.or.jp>